



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 三洋工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小宮山 幹生

TEL 03-3685-3451

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,347	3.5	181	—	248	—	184	—
23年3月期第3四半期	17,722	△6.2	△880	—	△817	—	△942	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 170百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △956百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.29	—
23年3月期第3四半期	△27.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	21,506	10,123	45.8	282.86
23年3月期	22,139	10,024	44.1	280.16

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,849百万円 23年3月期 9,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	5.1	350	—	400	—	400	—	11.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	35,200,000 株	23年3月期	35,200,000 株
24年3月期3Q	378,814 株	23年3月期	377,828 株
24年3月期3Q	34,821,403 株	23年3月期3Q	34,823,799 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月～平成23年12月）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧が進むにつれ、緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかし一方で、長期化する円高や株価の低迷、欧州財政危機の一層の深刻化、更にはタイの洪水による生産活動への影響など、日本経済を取り巻く環境は、依然として不安要因を抱え先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、震災後の停滞局面から回復傾向にあるものの、需要量は依然として低水準にあり、リーマン・ショック以前の状況には戻っておらず、震災地域を除けば建築需要は総じて弱い動きで推移しております。

このような状況の中で当社グループは、収益体制の再構築を図るため、「経営改善計画」を着実に実行し、固定費の削減や徹底した原価低減に努めるほか、重点商品の販売強化や震災復旧需要への対応、耐震・省エネ関連製品等の開発および積極的な提案営業活動等を通じて、収益の改善に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,347百万円（前年同期17,722百万円）となり、利益面では、営業利益181百万円（前年同期営業損失880百万円）、経常利益248百万円（前年同期経常損失817百万円）、四半期純利益184百万円（前年同期四半期純損失942百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、ビルやマンション用の製品が苦戦を強いられる中、新設住宅着工戸数に回復の動きが見られたことから戸建住宅用製品の売上高が好調に推移し、軽量壁天井下地全体の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

床システムにつきましては、オフィス用のOAフロアなど一部の製品において昨年実績を若干上回ったものの、主力製品であるスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やマンション用の遮音二重床製品の売上高が依然として低調であったことなどから、床システム全体の売上高は減少となりました。

アルミ建材につきましては、震災需要への対応をはじめ、耐震関連製品であるエキスパンション・ジョイントカバーの積極的な提案営業、その他アルミ製品の需要取り込みが奏功し、アルミ建材全体の売上高は大幅な増加となりました。

この結果、売上高は15,158百万円（前年同期14,287百万円）、セグメント利益61百万円（前年同期セグメント損失889百万円）となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力製品である床システム製品が、震災による工事計画の見直しや延期等の影響を受け、売上高の減少を余儀なくされたこともあり、システム会社全体の売上高は3,380百万円（前年同期3,811百万円）、セグメント利益は48百万円（前年同期セグメント利益22百万円）となりました。

③ スワン商事

当社の子会社でアルミ建材を製造、販売するスワン商事株式会社におきましては、主力製品である手摺製品が昨年実績とほぼ横ばいであったものの、もう1つの主力製品であるシャッター製品の売上高が好調であったことなどから、売上高は428百万円（前年同期345百万円）、セグメント利益2百万円（前年同期セグメント損失48百万円）となりました。

④ その他

その他につきましては、売上高200百万円（前年同期174百万円）、セグメント利益は18百万円（前年同期セグメント利益6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、主に商品及び製品などのたな卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ632百万円減少し、21,506百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ731百万円減少し、11,382百万円となりました。

純資産は、当第3四半期連結累計期間が四半期純利益となったことにより、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、純資産合計は10,123百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成23年4月1日から平成24年3月31日）の連結業績予想につきましては、平成23年11月8日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,219	2,439
受取手形及び売掛金	10,952	8,944
有価証券	468	469
商品及び製品	1,640	2,905
仕掛品	90	78
原材料及び貯蔵品	767	837
繰延税金資産	27	27
その他	41	64
貸倒引当金	△156	△104
流動資産合計	16,052	15,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,879	1,787
機械装置及び運搬具（純額）	626	516
土地	2,389	2,389
その他（純額）	111	125
有形固定資産合計	5,006	4,818
無形固定資産	32	34
投資その他の資産		
投資有価証券	322	297
繰延税金資産	5	5
その他	1,003	884
貸倒引当金	△284	△195
投資その他の資産合計	1,047	992
固定資産合計	6,086	5,844
資産合計	22,139	21,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,853	7,159
短期借入金	966	884
未払法人税等	121	58
賞与引当金	105	30
役員賞与引当金	12	9
災害損失引当金	70	39
その他	627	887
流動負債合計	9,756	9,069
固定負債		
社債	600	600
長期借入金	9	—
繰延税金負債	5	1
退職給付引当金	1,339	1,301
その他	403	410
固定負債合計	2,357	2,313
負債合計	12,114	11,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	6,931	7,045
自己株式	△106	△106
株主資本合計	9,753	9,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△18
その他の包括利益累計額合計	1	△18
少数株主持分	268	274
純資産合計	10,024	10,123
負債純資産合計	22,139	21,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	17,722	18,347
売上原価	13,909	13,976
売上総利益	3,813	4,371
販売費及び一般管理費	4,693	4,189
営業利益又は営業損失(△)	△880	181
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	7	9
受取賃貸料	76	82
その他	61	28
営業外収益合計	156	126
営業外費用		
支払利息	17	12
不動産賃貸費用	38	44
休業手当	26	—
その他	10	2
営業外費用合計	93	59
経常利益又は経常損失(△)	△817	248
特別利益		
受取保険金	—	48
特別利益合計	—	48
特別損失		
固定資産除却損	2	7
減損損失	6	—
災害による損失	—	34
施設利用権評価損	—	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57	—
特別損失合計	65	44
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△882	253
法人税等	62	61
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△945	191
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△942	184

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△945	191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△20
その他の包括利益合計	△11	△20
四半期包括利益	△956	170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△954	163
少数株主に係る四半期包括利益	△2	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。